

第3回堀金小学校3年生と南農生とのリンゴ栽培体験交流

1組は予定していた2日間ともに雷注意報の発表や降雨があり、残念ながら実施できず、9月12日(金)に高校生が責任をもって袋掛けをしました。2組とは9月3日(水)に計画どおり、デザインアップルをつくるための袋掛けをまずは体験してもらいました。続いて、現時点での果実の甘さや味を知ってもらうために糖度測定や食味をしてもらうとともに、まん丸の果実と形が悪い果実の違いについて輪切りにして見比べてもらうなど、味覚や視覚をとおして学んでももらいました。

袋掛けですが、自分たちの班の木に着果したリンゴ4果に、各自が願いごとを書いた中黒二重袋を掛けてもらいました。両校の行事予定等の関係で、袋掛けが9月にずれ込んでしまったため果実が大きく成長しており、袋の中に果実を入れることが大変で、とても難しい作業になってしまいました。しかし、小学生の皆さんと高校生が思いを1つにして作業に取り組み、無事にすべての袋を掛けることができました。

次は、お楽しみの現段階での糖度測定と未成熟果の食味です。糖度は10%程度でしたが、食べてみると渋みと酸味はあるものの、甘さも感じられ夏の暑い季節に食べるにはまあまあの味のリンゴになっており、小学生の皆さんは歓声をあげながら食べていました。また、変形果を輪切りにして種子の入り方を見てみると、その成長の違いは明白で、形の良いリンゴをつくるには花が咲いたときにミツバチ等の昆虫が花粉を運び、確実に受粉・受精が行われて種子が形成されることが大切であることも学んでももらいました。

次回の交流日は10月20日に1組、24日に2組で、果実袋をはずした後にデザインシールを貼ってもらいます。天気の良い中で交流できることを切望しています。素敵なデザインシールを描いてきてください。



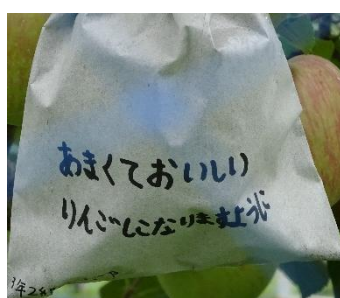
高校生による袋かけの実演



両者で協力して袋をかける



願いごとが書かれた果実袋



樹に網をかけ鳥から果実を守る



未成熟果の食味



変形果の輪切り